

学校だより4号

平成28年7月5日発行

きずな

北九州市立折尾西小学校
校長 二宮利之
児童数506名



1学期 残りわずか

7月に入りました。早いもので、1学期もあと3週間足らずです。梅雨も終わりに近付き、暑さが厳しくなっていますが、健康に気を付け、学習や生活等、1学期を振り返り、自分の課題を克服できるように、励ましたいと思います。

学習参観 ありがとうございました

先月22日(水)の学習参観には、平日にもかかわらず、多数ご参加いただき、ありがとうございました。

この日は、学校評議員会も開催し、いっしょに学習を参観していただきました。北九州市の各学校では、校長のアドバイザーとして学校評議員を任命し、日頃の教育活動にご意見をいただいています。評議員の方から「落ち着いた雰囲気、しっかりとした学習が行われていてよかった」「保護者の参観のマナー(廊下での話)がとても良かった」等のご意見をいただきました。

水泳 頑張っています

6月7日に、六年生の手によりプール清掃が行われ、予定通り13日にプール開きを行いました。

水泳は、この時期だけの限られた学習です。天候や気温・水温によっては、中止にすることもあります。体調管理や道具の準備に十分気を付け、限られた中で、自分の目標に向かって、少しでも泳力を伸ばせるように頑張りたいと思います。

朝の検温、水泳許可印を忘れずをお願いします。しかし、水泳は危険と背中合わせです。常に指導者4人体制で安全には十分気を付けて指導にあたっています。



平和について考えよう

7月は平和に関する学習月間として、各学級で様々な学習したり、職員室前に資料展示をしたりして、平和の大切さ、命の尊さについて考えさせたいと思います。

7月6日には、永井隆記念館館長 永井徳三郎さんをお招きして、被爆に関する体験談等を聞かせていただくことになっています。

永井隆博士は、昭和20年8月9日長崎医科大学の診察室で被爆されました。家族をなくされた上、自身も重い病気を患いながらも、懸命に被爆者の救護に当たられた方です。著書「長崎の鐘」「この子を残して」は映画化されました。徳三郎館長は、お孫さんに当たります。永井博士のお話を始め、被爆された方々の思い等の貴重なお話をお聞きできることと思います。当日は、4～6年生が講話を聞くことになっています。

このような体験を通じて、平和の大切さをしっかりと心に刻み、平和な世の中を守り続ける大人に育ってほしいと願っています。ご家庭でも、平和について考えるよい機



会です。新聞記事やテレビの番組等をもとに、平和の尊さを話し合ってもらえるとありがたいです。

7月の学校行事予定

- 5日(火) 校納金振替日
- 6日(水) 被爆体験講演会(4～6年)
- 7日(木) クラブ活動 PTA理事会
- 11日(月) フッ素塗布2・3年希望者
- 13日(水) 全体パトロール
- 14日(木) 個人懇談会
- 15日(金) 個人懇談会
- 19日(月) 学期末大掃除
規範教育・修学旅行説明会(6年)
給食終了
- 20日(火) 終業式
生活安全パトロールの方々への感謝の会
※ 夏の教室 21・22・25日

さあ、もうすぐ夏休み、思い出いっぱい、有意義な休みになりますように

毎年、夏になると、川や海での水の事故の報道をよく耳にします。夏休みは長期間学校から離れますので、ご家庭で十分注意をお願い致します。開放的になる夏休み、普段の遊びや交通事故等にも気を付け、安全で楽しい夏休みになるよう、ぜひご家庭でも話し合われてください。

また、せっかくの長い夏休みです。この休みを利用し、何かに挑戦して欲しいと思います。社会科学や理科の自由研究、絵画、読書、作文コンクールへの応募等、意義あることに挑戦する休みであることを願っています。

宿題も出ると思います。毎日少しずつでも学習する時間をとり、学習習慣が途切れない方が好ましいと思います。計画を立てて、規則正しく学習することが大切です。